

# 新島襄関連の文献目録（32）

—著者・筆者別—

同志社社史資料センター

お 知 ら せ

『同志社談叢』に掲載された「新島襄関連の文献ノート」（1）～（24）は、本学人文科学研究所により一括して再配列され、『新島襄関係文献目録』（非売品）として2006年12月に刊行された。

## 凡 例

1. 配列は著編者名をアルファベット順にした。同一の著編者による文献は、発行（発表）年月日順とした。
2. 著編者については、次のような例外がある。
  - (1)無署名の文献のうち、筆者を特定しうるのは〔 〕内に表示した。
  - (2)著編者が不詳の場合は、その文献が掲載されている雑誌名及び新聞名を著編者欄に掲げた。
  - (3)ペンネームの場合、それが本名より周知されている場合は、ペンネームに続けて〔 〕に本名を付した。
  - (4)翻訳の場合、著者（筆者）、訳者の順番で記し、訳者には適宜（訳）を補った。
3. 書名（論文名）は次のように表示した。
  - (1)単行本、研究紀要、新聞、雑誌には『 』を付した。
  - (2)論文名、記事、抜刷、パンフレット類には「 」を付した。
  - (3)英文単行本の書名はイタリックで表示した。
  - (4)同一文献内に同じ著編者の論考がある場合、それぞれ独立したものとして表示した。
  - (5)タイトルは原則的に原文どおりに表示したが、タイトルに「 」が含まれる場合、適宜『 』に変更した。
  - (6)タイトルに含まれる漢数字は、算用数字で表記した。
4. 出版事項は、次のように表示した。
  - (1)発行所、発行年は原本どおり表記するが、和暦年号は西暦に変更した。再版（以降も）の場合、内容等に関して大幅な改訂がない限り、初版の出版事項を記した。
  - (2)新聞・雑誌の場合、誌（紙）名、巻・号、発行年月、新聞の場合には発行年月日を付した。
  - (3)インターネット上の文献の場合はアドレス（URL）と閲覧年月日を記した。
  - (4)漢数字は算用数字に変更した。

著者（筆者名）	題 名	出 版 事 項
<b>A</b>		
阿部綾子、湯田祥子、小枝弘和、露口卓也	「座談会 八重と会津」	『同志社時報』No.135 学校法人同志社 2013.4
阿 部 正 敏	「知られざる新島襄の留学生活」	『歴史読本』7月号 中経出版 2013.7
秋 元 セ キ	「府政の礎を築いた京都復興時代」	『歴史読本』7月号 中経出版 2013.7
安 藤 優一郎	「知と人脈を得た江戸修行時代」	『歴史読本』7月号 中経出版 2013.7
安中市学習の森ふるさと学習館（安中市教育委員会）	『第13回企画展我が郷土の文学者』	安中市学習の森ふるさと学習館（安中市教育委員会）2013
青山霞村（原著）住谷悦治（校閲）田村敬男（編集）	『山本覚馬伝』	宮帯出版社 2013
あさくら ゆう	『川崎尚之助と八重 一途に生きた男の生涯』	知道出版 2012
<b>C</b>		
Juliet W. Carpenter, Editor、枝澤康代、日比恵子、杉野徹	<翻訳> Reminiscences of Yae Neesima: "War Stories from Aizu Castle by a Woman Who Dressed as a Man" and "Mr. Neesima at Home"	『ASPHODEL』48 同志社女子大学英語英文学会 2013.7
<b>D</b>		
同志社	『新島襄自伝』	岩波文庫 2013
同志社女子大学新島八重研究会	『Quiz de Yae 100』	同志社女子大学 2013
同志社社史資料センター	「シリーズ新島八重の生涯③」	『父母会会報』同志社大学文学部・社会学部父母会 2012.12
同志社社史資料センター	『ハリス理化学館同志社ギャラリー 第1階企画展 新島襄と八重』	同志社社史資料センター 2013
同志社社史資料センター	「新島襄の足跡をたどる（8）新島襄と八重が旅した戊辰戦争最大の激戦地ー福島県白河市」	『同経会報』第75号 同志社大学経済学部同経会 2013.4
<b>F</b>		
福井新聞	「杉田定一を支えた妻、父」	『福井新聞』2013.1.30
古 山 智 行	「会津藩の教育ー藩校日新館と幼少期における学びー」	NHK・NHK プロモーション 『2013年NHK大河ドラマ特別展 八重の桜』NHK・NHK プロモーション 2013

古 山 智 行	「新島襄が見た福島」	『ハリス理化学館同志社ギャラリー第1階企画展 新島襄と八重』同志社社史資料センター 2013
布 施 智 子	「『神戸女学院と同志社』展をめぐって」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2011 春学期』2013.9
布 施 智 子	「新出資料の紹介『川上左七郎宛新島襄書簡』」	『同志社談叢』33 同志社社史資料センター 2013.3
布 施 智 子	「襄と八重の自宅と暮らし」	『ハリス理化学館同志社ギャラリー第1階企画展 新島襄と八重』同志社社史資料センター 2013
布施田 哲 也	「虎口からの脱出—Joseph Neesima と Capt.Andrew Bartlett との交流—」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
<b>G</b>		
行 天 博 志	『新島襄—教育と伝道に捧げた生涯—』	千葉出版 2013
<b>H</b>		
原 誠	「同志社で学んだ人たち」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2011 春学期』2013.9
畑 智 子	「博覧会の時代—八重の生きた近代の京都—」	NHK・NHK プロモーション『2013 年 NHK 大河ドラマ特別展 八重の桜』NHK・NHK プロモーション 2013
<b>I</b>		
今 井 一 宏	「平和を作り出す者—平和教育の実践を通して—」	『チャペル・アワー奨励集』283 2013.10
井 上 勝 也	「同志社大学で学んで」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2011 春学期』2013.9
井 上 勝 也	「山本覚馬と新島襄Ⅲ」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
井 上 勝 也	「〈書評〉岩澤信千代著『不一—新島八重の遺したもの〜』」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
井 上 勝 也	「同志社の創立者 新島襄の生き方・考え方」	『偶儻不羈なる書生ヲ圧束せず Doshisha Spirit Week 講演集 2012』同志社大学キリスト教文化センター 2013.12
石 井 容 子	「熊本洋学校教師 Capt. L. L. Janes 研究—足跡と功績—」	佑啓堂 2013
石 倉 和 佳	「徳富蘇峰記念館所蔵新島襄書簡について (1)—二通の新島書簡 徳富猪一郎との往復書簡として—」	『同志社談叢』33 同志社社史資料センター 2013.3

伊藤哲也	研究ノート「八重と襄と尚之助」(1)	会津史学会編『歴史春秋』第77号 歴史春秋出版 2013.4
伊藤哲也	「会津烈女・八重の生涯」(2)	『会津史談』第87号 会津史談会 2013.4
伊藤哲也	八重と襄と尚之助 (2)	会津史学会編『歴史春秋』第78号 会津春秋社 2013. 秋
伊藤彌彦	『なるほど新島襄』	萌書房 2012
伊藤彌彦	「アメリカの新島襄」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2011 春学期』 2013.9
伊藤彌彦	「内部溶解の始まった大学—新島襄と現代—」	『偶像不羈なる書生ヲ圧束せず Doshisha Spirit Week 講演集 2012』同志社大学キリスト教文化センター 2013.12
J		
徐正敏	「私と同志社と尹東柱」	『偶像不羈なる書生ヲ圧束せず Doshisha Spirit Week 講演集 2012』同志社大学キリスト教文化センター 2013.12
K		
片山純一	『大西祝 戦う哲学者の生涯』	吉備人出版 2013
河合敦	『八重と覚馬』	廣済堂出版 2013
河野逸人	『NHK 大河ドラマ 歴史ハンドブック 八重の桜』	NHK 出版 2013
河野逸人	『NHK 大河ドラマ・ストーリー 八重の桜』前編	NHK 出版 2013
桐野作人	「覚馬に影響を与えた3人」	『歴史読本』7月号 中経出版 2013.7
北垣宗治	「新島襄の弁解」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2011 春学期』 2013.9
北垣宗治	「＜書評＞保阪正康著『八重と新島襄』 サンデー毎日連載1回～31回 (2012年1月29日～9月9日)」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
北垣宗治	「同志社史を複眼で眺める」	『偶像不羈なる書生ヲ圧束せず Doshisha Spirit Week 講演集 2012』同志社大学キリスト教文化センター 2013.12
小枝弘和	「京に咲く八重 息づく会津の心」1～40	『福島民友』2013.4.7～12.30
小枝弘和	「京都時代の八重」	NHK・NHK プロモーション [2013年 NHK 大河ドラマ特別展 八重の桜] NHK・NHK プロモーション 2013

小 枝 弘 和	「新島襄の志」	『ハリス理化学館同志社ギャラリー第1階企画展 新島襄と八重』同志社社史資料センター 2013
小 枝 弘 和	「私の考える新島八重～社会に向けたまなざし～」	『日本の老舗』290 日本老舗百店会 2013.8
小 枝 弘 和	「福島県と同志社―震災復興をめぐる―」	全国大学史資料協議会西日本部会『大学アーカイブズの社会貢献』全国大学史資料協議会 2013.12
小 崎 眞	「キリスト教(主義)教育への一視座: 新島襄の「良心」理解を中心として」	『キリスト教教育論集』21 日本キリスト教教育学会 2013.3
小 崎 眞	「＜書評＞吉海直人著『新島八重 愛と闘いの生涯』」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
黒 沢 賢 一	『すらすら読めてわかりやすい 「新島八重」伝説』	創英社 三省堂書店 2012
<b>M</b>		
松 本 健 一	『山本覚馬』	中公文庫 2013
松浦吉剛、佐藤克也、浜名大輔、松下亜樹子	「波乱の世に咲く 八重と新島襄の生涯」1～6	『京都新聞』2013.2.1～2.7
三 木 メ イ	「ハンサム・ウーマン 新島八重」	『偶像不羈なる書生ヲ圧束せず Doshisha Spirit Week 講演集 2012』同志社大学キリスト教文化センター 2013.12
三 宅 えり子	「新島八重とリーダーシップ・スタイルに関する一考察―フローレンス・ナイチンゲールとの比較から―」	『総合文化研究所紀要』第30巻 2013.7
宮 澤 正 典	「＜書評＞吉村康著『歴史物語 新島八重の生涯―幕末のジャンヌ・ダルク』」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
望 月 修 治	「言葉を食べる」	『チャペル・アワー奨励集』283 2013.10
森 一 郎	「＜書評＞藤本ひとみ著『幕末銃姫 伝―京の風会津の花』」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
守 部 善 雅	『サムライウーマン新島八重』	いのちのことは社 2013
森 永 長壹郎	「南山義塾の誕生から消滅まで―南山義塾、同志社英学校、自由民権運動―」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
森 永 長壹郎	「＜書評＞早川廣中・本井康博共著『増補改訂 新島八重と夫、襄―会津、京都、同志社―』」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
森 永 長壹郎	「デイヴィスとクラークの往復書簡(10)」	『同志社談叢』33 同志社社史資料センター 2013.3
本 井 康 博	『八重さん、お乗りになりますか』	思文閣出版 2012

本 井 康 博	「同志社の宣教師たち―初期の七人をめぐって―」	『偶像不羈なる書生ヲ圧束せず Doshisha Spirit Week 講演集 2010 秋学期』同志社大学キリスト教文化センター 2012.12
本 井 康 博	『徳富蘇峰の師友たち 「神戸バンド」と「熊本バンド」』	教文館 2013
本 井 康 博	「同志社設立と覚馬の信仰」	『歴史読本』 7 月号 中経出版 2013.7
本 井 康 博	『八重の桜・裏の梅』新島襄を語る別巻 (三)	思文閣出版 2013
本 井 康 博	「新島襄と W. T. セイヴォリー船長」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2011 春学期』 2013.9
本 井 康 博	「新出資料の紹介」	『同志社談叢』33 同志社社史資料センター 2013.3
N	中 丸 満	『歴史読本』 7 月号 中経出版 2013.7
	中 村 彰 彦	『文藝春秋』平成 25 年 3 月号 文藝春秋 2013.3
	中 村 彰 彦	『オール讀物』平成 25 年 1 月号 文藝春秋 2013.1
	中 岡 進	『歴史読本』 7 月号 中経出版 2013.7
	中 岡 進	『ハリス理化学館同志社ギャラリー第 1 階企画展 新島襄と八重』同志社社史資料センター 2013
	浪 床 敬 子	『熊本日日新聞』2013.10.4
ニュース企画	『2013 年 NHK 大河ドラマ「八重の桜」完全ガイドブック』	大日本印刷 2013
NHK、NHK プロモーション	『2013 年 NHK 大河ドラマ特別展 八重の桜』	NHK、NHK プロモーション 2013
NHK「歴史秘話ヒストリア」製作班	『NHK 歴史秘話ヒストリア』5 明治時代～昭和編	金の星社 2013
NHK出版	『KYOTO で極めるハンサムウーマン ライフ―時代をひらく古都の女子力』	NHK 出版 2013
西 田 毅	「山本覚馬断想」	『民友』394 2013.10
西 村 昌 能	「新島襄とクラーク博士の天文学的関係：二人を結びつける隕石研究」	『天文教育』25 (5) 天文教育普及研究会 2013.9
野 本 真 也	「一本の木～新島襄の志を受け継ぐために～」	『偶像不羈なる書生ヲ圧束せず Doshisha Spirit Week 講演集 2012』同志社大学キリスト教文化センター 2013.12

O

小 栗 仁 志	「たずねてみませんか (1) 上毛かるたシリーズ (35) (へ) 平和の使徒新島襄」	『振興ぐんま』107 群馬県教育振興会 2013.9
大 鉢 忠	「震災時における協同組合運動と平和の実現」	『チャペル・アワー奨励集』283 2013.10
大 鉢 忠	「＜書評＞早乙女貢著『明治の兄妹 新島八重と山本覚馬』」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
大 堀 哲	『ならぬことはならぬ』	長崎文献社 2013
大 越 哲 仁	「新島八重と茶の湯」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
大 越 哲 仁	「＜書評＞由良弥生著『新島八重と幕末一会津に咲いた八重の桜』」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
太 田 雅 夫	「＜書評＞本井康博著『日本の元気印・新島八重』(新島襄を語る・別巻 (一))」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
押 本 年 眞	「カレッジ・ソング One Purpose Doshisha」	『偶像不羈なる書生ヲ圧束せず Doshisha Spirit Week 講演集 2012』同志社大学キリスト教文化センター 2013.12

S

斎 藤 慎 一	「昭和三年と会津一松平恒雄とその邸宅から」	NHK・NHK プロモーション『2013 年 NHK 大河ドラマ特別展 八重の桜』NHK・NHK プロモーション 2013
坂 本 清 音	「＜書評＞本井康博著『ハンサムに生きる』(新島襄を語る (七))」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
坂 本 清 音	「初期同志社の岸和田伝道の初穂—同志社女学校第一回卒業生、山岡登茂と田代初の場合—」	『同志社談叢』33 同志社社史資料センター 2013.3
坂 本 清 音	「田代初『話之覚』」	『同志社談叢』33 同志社社史資料センター 2013.3
坂本清音(監訳)、秋山恭子、吉岡弘子、小林弘美	アメリカン・ボード宣教師文書—同志社女学校女性宣教師を中心として—＜スタークウェザー書簡—訳および註＞(8)	『ASPHODEL』48 同志社女子大学英語英文学会 2013.7
坂 本 優 二	『八重のことば』	新教出版社 2012
桜 井 裕 子	『京に咲く同志の桜』	海竜社 2012
早乙女 貢	『明治の兄妹 新島八重と山本覚馬』	新人物往来社 2012
佐藤全弘、藤井茂	『新渡戸稲造事典』	教文館 2013
佐 藤 洋 一	「会津時代の八重」	NHK・NHK プロモーション『2013 年 NHK 大河ドラマ特別展 八重の桜』NHK・NHK プロモーション 2013

関 口 徹	「新島襄の母とみとその先祖」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
志 村 和次郎	『新島襄とかかあ天下』	上毛新聞社事業局出版部 2013
白河市歴史民俗資料館	「特別企画展 新島八重の生涯と白河～白河がつなぐ故郷への思い～」	白河市歴史民俗資料館 2013.9
杉 原 悠 三	「新島襄密出国への道」	『ハリス理化学館同志社ギャラリー第1階企画展 新島襄と八重』同志社社史資料センター 2013
鈴 木 直 人	「人一人ハ大切ナリ」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起リ来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2011 春 学期』2013.9
T		
多 田 直 彦	「新島襄と『梅』」	『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
竹 内 力 雄	「新資料の紹介 新島八重の前夫・川崎尚之助の終焉―鎮魂―」(8)	『The Doshisha Times』 第 683 号 2012.12
竹 内 力 雄	「新資料の紹介 新島八重の前夫・川崎尚之助の終焉―鎮魂―」(9)	『The Doshisha Times』 第 684 号 2013.1
竹 内 力 雄	「新資料の紹介 新島八重の前夫・川崎尚之助の終焉―鎮魂―」(10)	『The Doshisha Times』 第 685 号 2013.2
竹 内 力 雄	「『管見』―覚馬のめざしたもの」	『歴史読本』 7 月号 中経出版 2013.7
竹 内 力 雄	川崎尚之助致	『同志社時報』 No.136 学校法人同志社 2013.10
竹 内 力 雄	「新資料の紹介 新島八重の前夫・川崎尚之助の終焉―鎮魂―」(11)	『The Doshisha Times』 第 686 号 2013.3
手 島 仁	「新島襄と上州安中藩」	『歴史読本』 7 月号 中経出版 2013.7
露 口 卓 也	「社会に向かう―創設期の学生たち―」	『個儻不羈なる書生ヲ圧束せず Doshisha Spirit Week 講演集 2010 秋学期』同志社大学キリスト教文化センター 2012.12
露 口 卓 也	『新島講座 2012 新島八重の印象―その精神力について』	学校法人同志社 2013
露 口 卓 也	「八重という女性―その生き方」	全国大学史資料協議会西日本部会『大学アーカイブズの社会貢献』全国大学史資料協議会 2013.12
筒 井 紘 一	『新島八重の茶事記』	小学館 2013
U		
植山茂、西山剛、橋本章、畑智子	「凜として 特別展『八重の桜』から」1～6	『京都新聞』2013.8.5～8.10



W			
若	林	裕	「熊本バンドー明治の若きサムライたち」 『偶像不羈なる書生ヲ圧束せず Doshisha Spirit Week 講演集 2010 秋学期』同志社大学キリスト教文化センター 2012.12
Y			
山	下	智子	「寄稿 八重と会津」 『同志社時報』No.135 学校法人同志社 2013.4
吉	田	曠二	「山本覚馬＝八重・襄の出会い」同志社誕生物語：一冊の本との出会から (2) 『The Doshisha Times』第 691 号 2013.9
吉	田	曠二	「山本覚馬＝八重・襄の出会い」同志社誕生物語：一冊の本との出会から 『The Doshisha Times』第 690 号 2013.7
吉	原	重和	「新島襄と吉原重俊（大原令之助）の交流」 『新島研究』104 同志社社史資料センター 2013.2
吉	海	直人	『カメラが撮らえた新島八重山本覚馬新島襄の幕末・明治』 中経出版 2013
吉	海	直人	八重の蘇峰宛書簡六通の紹介―徳富蘇峰記念館所蔵― 『総合文化研究所紀要』第 30 巻 2013.7
吉	海	直人	『徳富蘇峰の見た八重』（同志社女子大学史料講演会記録 5） 同志社女子大学史料室 2013
好	川	之範	『八重とその時代―幕末と明治を生きた人々―』 歴史春秋社 2013
好	川	之範	「京都時代の覚馬と新撰組の邂逅」 『歴史読本』7 月号 中経出版 2013.7
吉	村	康	『闇に虹をかけた生涯 山本覚馬伝』 本の泉社、2013
湯	田	祥子	「新島八重」 『ハリス理化学館同志社ギャラリー第1階企画展 新島襄と八重』同志社社史資料センター 2013